



●CONTENTS

巻頭言	2
琵琶湖岸のヨシ群落について	3
「散在ゴミ」考	9
これからの滋賀の環境教育をさぐる	14
ルドルフ・ディーゼルの予言	19
環境フィールドワークから見た環境学習法	22
財団のひとりごと	27

編集後記

機関誌「明日の淡海」第二号の編集を終えた昼下がり、当財団の事務所の窓から眺める比良、比叡の稜線は、もうすっかり春めいてきました。

これから、自然が一番美しくなる季節です。そして私たちも開放的になり、山や湖と身近に接する機会が多くなります。最近、高齢者を中心に自然への憧憬が高まり、多くの人が美しい自然を求めて野山へと一寸したウォーキングブームです。そこには幼い頃の思い出としての自然環境があり、春の小川“や”ふるさと”等の小学唱歌が自然と口ずさめる風情があります。

都会の雑踏を逃れ春風に誘われて豊かな自然環境に身を置くことは、それだけで人々の心を慰め、そして和らげ、日頃のストレスを解消し、人の心を爽やかにすることでしょう。遠い昔の歌人が詠んだと同じ春の風情を私たちは今の自然に見ているのだと思うと、いっそう趣深くなるものです。

ところで有史以来、人間は自然の恩恵を受け文明を発展させてきましたが、また、一方ではその恩を仇で返すように自然を破壊してきたのではないのでしょうか。

近頃の異常気象は言葉では何も言えない自然の人間への警鐘かも知れません。

自然にとって人間は必要で無いかもしれない。しかし、人間は自然なしでは生きられない。

豊かな自然を次の世代に渡すのは私たちの使命です。

最近各地で、里山の手入れや植林に取り組むボランティアが増えているのは心強いかぎりです。

機関誌「明日の淡海」が環境を守り、自然との共生をめざす人々への情報提供に少しでも貢献できればと願っています。

原稿の募集について

機関誌「明日の淡海」では、環境や自然に関心のある方々の意見・提言等を募集しています。

- ・ 環境問題に対する考えや環境施策への意見・提言等
- ・ 環境に優しい暮らしにつながる意見・提言等
- ・ 美しい自然や自然保護に対する意見・提言等

※採用分には薄謝進呈

※当財団まで郵送・EメールまたはFAXでお送り下さい。

発行

財団法人 淡海環境保全財団

〒520-0807 大津市松本一丁目2番1号
滋賀県大津合同庁舎内
TEL. 077-524-7168
FAX. 077-524-7178

Eメール ohmi9@mx.biwa.ne.jp
ホームページ <http://www.biwa.ne.jp/~ohmi9/>

印刷 宮川印刷株式会社